

電源を OFF する時にシャットダウンスクリプトを実行したい

(Windows XP 編)

対象となる機器 (以下、機器と省略)

WATCH BOOT mini (RPC-M4H)	WATCH BOOT light (RPC-M5C)
WATCH BOOT L-zero (RPC-M4L)	
TIME BOOT (RSC-MT8F/MT8FP)	TIME BOOT mini (RSC-MT4H)

全体の流れ

1. TELNET サービスのスタートアップを有効化
2. ファイアウォールの許可設定
3. 『ローカルユーザーとグループ』の設定
4. アカウントのパスワード設定
5. 自動ログイン設定(任意)
6. リブーター側の設定
7. ユーティリティソフトを利用したシャットダウン(簡易版)

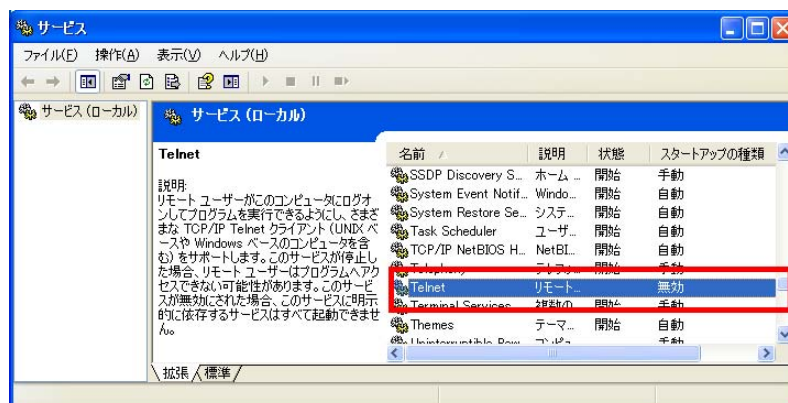
注意 OS のバージョンが HomeEdition では『ローカルユーザーとグループ』の設定が出来ません。その場合や、シャットダウン受け側の詳細設定をしない場合には手順 1～5 が不要です。手順 6～を参照し、弊社 HP よりダウンロード可能な無償ユーティリティソフトをご利用下さい。

1. TELNET サービスのスタートアップを有効化

デフォルトでは、TELNET 機能が OFF されている場合があります。先ずはシャットダウン対象機器の TELNET 機能を有効にします。

【手順】コントロールパネル⇒管理ツール⇒サービス

TELNET 欄を確認します。『状態』を『開始』にする為、『スタートアップの種類』を『自動』に変えて下さい。

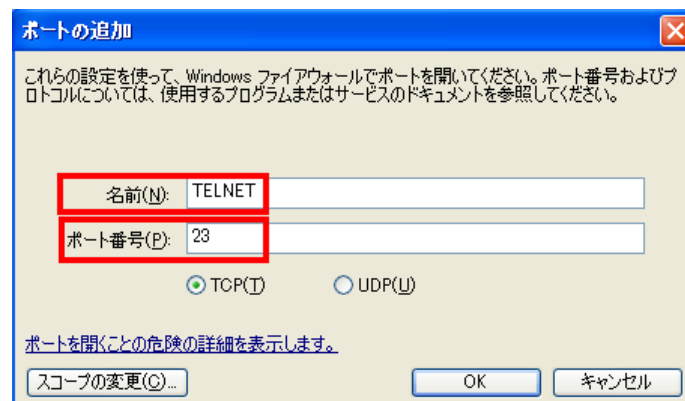
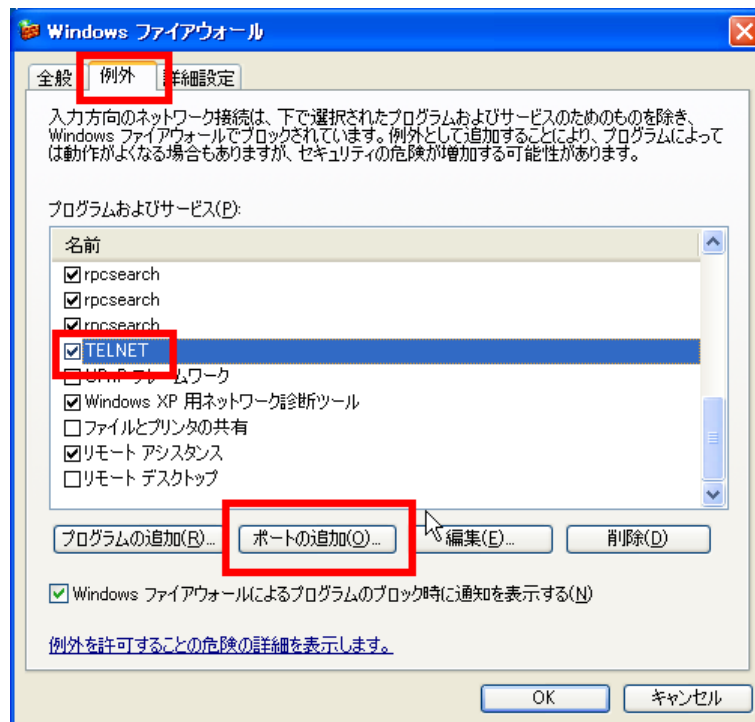


2. ファイアウォールの許可設定

ファイアウォールによっては、他機器からの命令を遮ってしまう場合がある為、TELNET 通信による命令を受けよう設定します。

【手順】コントロールパネル⇒Windows ファイアウォール⇒『例外』タブ、『ポートの追加』
『名前』欄に任意の名称、『ポート番号』に TELNET 通信用のポート番号(デフォルト:23)を入力。
(例：TELNET, 23 を入力してあります。)

『プログラムおよびサービス』の一覧に『TELNET』が作成されチェックマークが入っている事を確認して下さい。

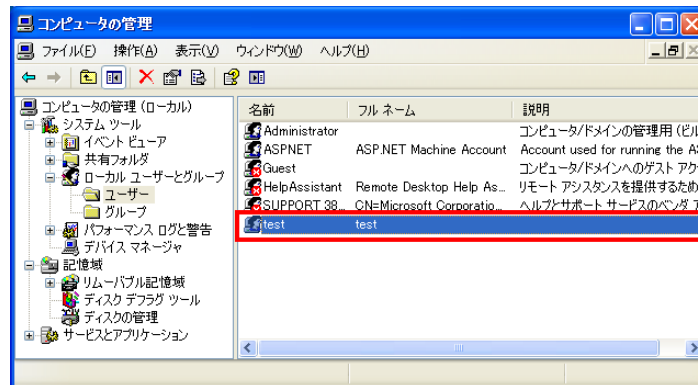


3. 『ローカルユーザーとグループ』の設定

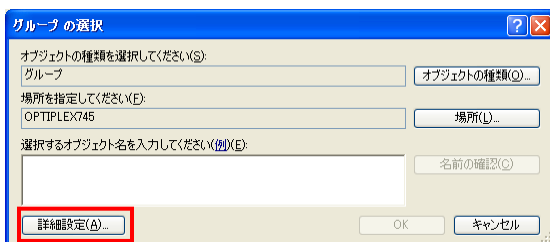
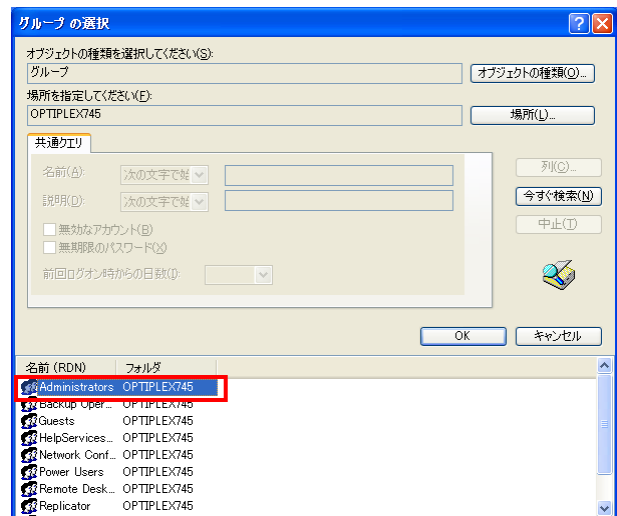
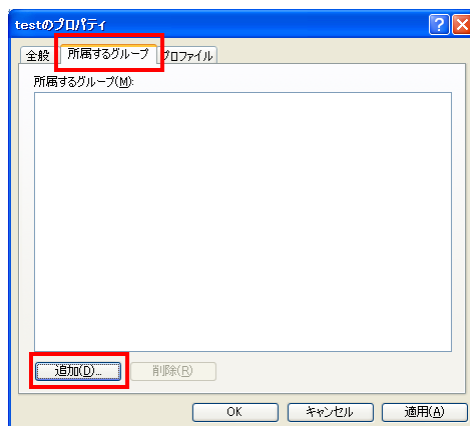
シャットダウン対象アカウントに、TELNET 通信によるシャットダウンを可能にする権限を与えます。

【手順】 コントロールパネル⇒管理ツール⇒コンピュータの管理⇒ローカルユーザーとグループ
ShutDown 対象アカウントの所属するグループに『Administrator』と『TelnetClients』を加えます。

ユーザー一覧の対象アカウント名をダブルクリック(例：test)



『所属するグループ』 ⇒ 『追加』 ⇒ 『詳細設定』 ⇒ 『今すぐ検索』 ⇒ 『Administrators』 ⇒ 『OK』

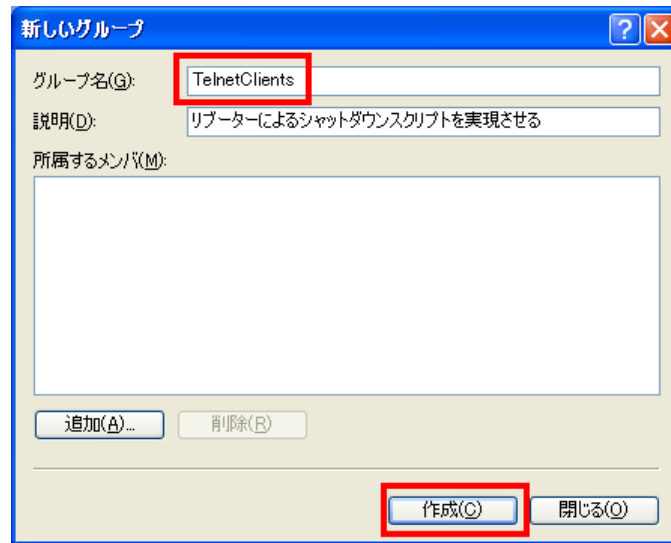


同様の手順で、『TelnetClients』も追加します。

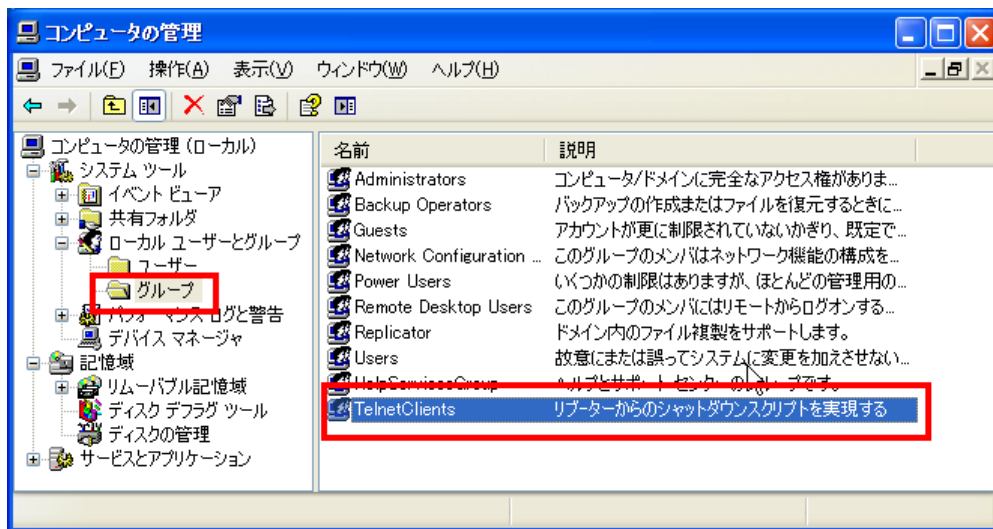
※ TelnetClients グループが無い場合は、次ページ参照の上、作成をして下さい。

※3. TelnetClients グループ作成方法

【手順】 前頁の手順に沿って、『ローカルユーザーとグループ』設定画面表示⇒『グループ』で右クリック⇒『新しいグループ』⇒グループ名に『TelnetClients』と入力⇒『作成』



グループ一覧に『TelnetClients』が追加されていればOKです。



前頁手順に従って、シャットダウン対象アカウントの所属するグループに『TelnetClients』を加えて下さい。

4. アカウントのパスワード設定

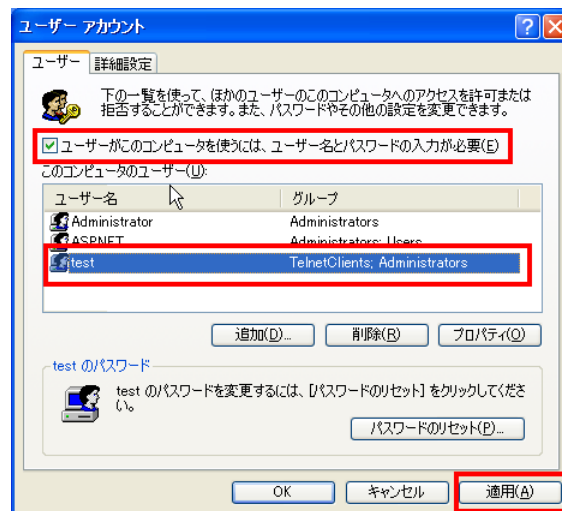
TELNET 通信にて、対象機器の OS をシャットダウンする為には、対象アカウントにパスワード設定されている事が必須です。

【手順】コントロールパネル⇒ユーザーアカウント『アカウントのパスワード作成』で設定をして下さい。

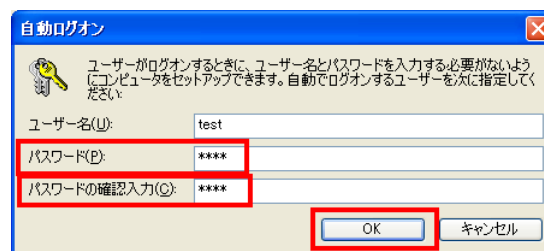
5. 自動ログイン設定(任意)

4. でアカウントにパスワードを設定した為、次回以降対象機器を起動させた場合ログイン画面(パスワード入力画面)より先に進む為には手動でパスワードを入力する必要があります。
ここでは、パスワードは設定した上で自動ログインする方法を記述します。

【手順】Windows スタートメニュー⇒『ファイル名を指定して実行』⇒『control userpasswords2』と入力



対象のユーザー名を選択し、『ユーザーがコンピューターを使うにはユーザー名とパスワードの入力が必要』のチェックを外し『適用』を押す。



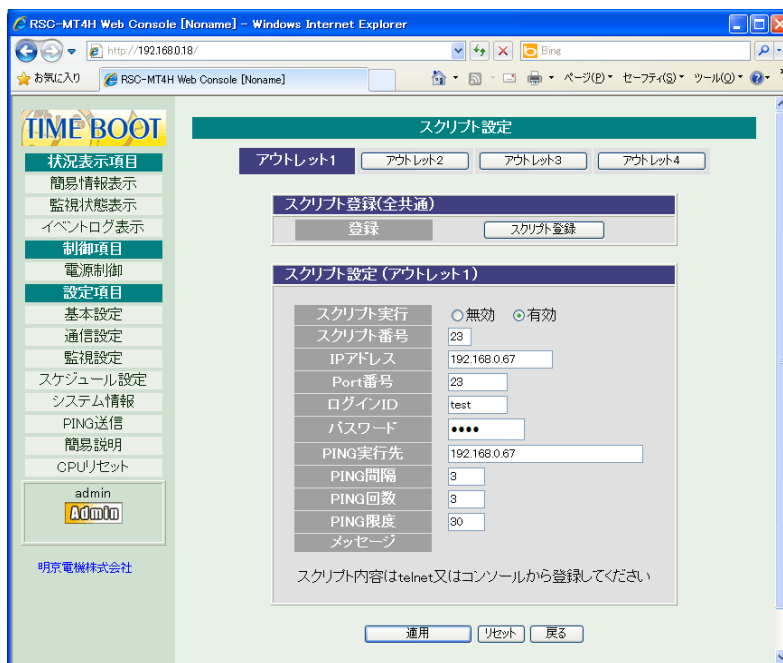
対象アカウントのパスワードを2箇所入力⇒『OK』

注意 WindowsUP デートにより、再度設定が必要になる場合がありますので
ご注意ください。

6. リポーター側の設定

次に、リポーターのアウトレットの電源がON⇒OFF になる際にシャットダウンスクリプトを連動させる設定です。

【手順】WEB ブラウザで対象リポーターにログインページ左側『設定項目』⇒ページ上部『詳細設定』⇒『外部接続設定』内の『スクリプト設定』を表示させる



- ① スクリプト実行…有効をチェック
- ② スクリプト番号…利用するスクリプト番号を入力
(「1」にはWindows用のスクリプトが予め設定されています)
- ③ IPアドレス…シャットダウン対象機器のアドレスを入力
- ④ ポート番号…TELNET用のポート番号を入力(デフォルト:23)
(ソフト利用時のデフォルトは8024)
- ⑤ ログインID…シャットダウン対象アカウントの『名前』を入力
※注意…後述の『フルネーム』ではありません(ソフト利用時のデフォルトはadmin)
- ⑥ パスワード…4.で設定した対象アカウントのパスワードを入力して下さい
(ソフト利用時のデフォルトはmagic)

以下は、PINGを送信し、正しくOSがシャットダウンされた(PING 応答無)際に電源供給をOFFさせる為の入力項目です。

- ⑦ PING 実行先…シャットダウン対象のIPアドレスを入力
- ⑧ PING 間隔…PING 送信間隔の秒数を入力

- ⑨ PING 回数・PING 応答無しがこの回数続いた場合にシャットダウン完了と判断し、電源供給を OFF します。
- ⑩ PING 限度・PING の応答があった場合でも、この回数 PING を実行し終えた場合に電源供給を OFF します。

*** 注意** ローカルユーザーとグループ設定時に『名前』『フルネーム』がありますので、『名前』を入力して下さい。

7. ユーティリティソフトを利用したシャットダウン

弊社 HP 上のサポートからダウンロード出来るユーティリティソフトウェア『MRC シャットダウン Sv (β1 版)』を使えば、複雑な設定を必要とせず、TELNET 通信によるシャットダウンが実現します。

【手順】明京電機ホームページ内の『サポート』ページを参照

<http://www.meikyo.co.jp/support/index.html>

サンプルユーティリティ集より『MRC シャットダウン Sv (β1 版)』をダウンロード

MRC シャットダウンを立ち上げている場合は、リポーターよる命令でシャットダウンスクリプトが実現します。OS 立ち上げに連動してソフトを立ち上げる『スタートアップに登録』や指定した機器の命令のみ受け付ける『接続指定』も、必要に応じて是非ご活用下さい。

※『MRC シャットダウン Sv(β1 版)』は Windows 用のアプリケーションソフトです。

